

東北地方整備局における取り組みについて 【対策事例の紹介】

東北地方整備局
河川部
建政部

クマ被害対策パッケージ(概要)

令和7年11月14日 クマ被害対策等に関する関係閣僚会議決定

- **クマによる死者数が過去最多を大幅に更新し、国民の安全・安心を脅かす深刻な事態**となっていることを踏まえ、関係省庁連携による**緊急的な対策を含めた総合的な施策パッケージ**の実施により、**国民の命と暮らしを守る**。
- **人の生活圏からクマを排除**するとともに、**周辺地域等において捕獲等を強化**することで、**増えすぎたクマの個体数の削減・管理の徹底を図り、人とクマのすみ分けを実現する**。

※いずれの取組も新規又は対策の強化を行うもの

緊急的に対応すること（★は着手済）

- ★ **緊急銃猟に係るノウハウや事例の整理・周知及び専門家派遣**（環境省）
- ★ **警察によるライフル銃を使用したクマの駆除**（警察庁）
- ★ **緊急銃猟に係る責任範囲の周知等による捕獲従事者の不安払しょく**（環境省）
- ★ **都道府県・市町村等と連携した出没時の安全確保**（警察庁、文部科学省）
- ★ **効果的な事例の共有などクマ対策の必要性に関する理解醸成**（環境省）
- **自衛隊OB、警察OB等への協力要請**（環境省、防衛省、警察庁）
- ★ **自治体職員による捕獲従事等に関する通知発出**（環境省、総務省）
- ★ **学校及び登下校時の安全確保に関する取組の周知等**（文部科学省、環境省）
- ★ **インバウンドを含めた登山者等への多言語による情報発信等**（環境省、観光庁）
- ★ **農林業従事者の安全確保の徹底**（農林水産省、林野庁）

短期的に取り組むこと

- **春期のクマ捕獲及び捕獲単価の増額を含む集落周辺個体の捕獲強化等による個体数の削減・管理の徹底**（環境省、農林水産省、総務省）
- **ガバメントハンターの人件費や資機材等の支援**（環境省）
- **クマ駆除技能を有する警察官の確保・資機材整備**（警察庁）
- **市街地等での適切な麻酔銃の使用方法、効果的な捕獲方法・出没防止対策に関する情報提供**（環境省、農林水産省）
- **緩衝帯・強固な柵の整備、誘引物の撤去、電気柵による防護強化、ICT等による出没情報の提供等**（環境省、農林水産省、林野庁）
- **河川における出没対策のための樹木伐採や占用許可円滑化等**（国土交通省）

中期的に取り組むこと

- **自治体における専門人材、高度な捕獲技術を持つ事業者・捕獲技術者（ガバメントハンター等）の育成**（環境省、農林水産省）
- **クマの個体数の削減、人の生活圏からの排除に向けたガイドライン改定等**（環境省）
- **適切な個体数管理のための統一的手法による個体数推定**（環境省）
- **堅果類の豊凶調査に基づくクマ出没傾向に関する情報発信**（環境省、林野庁）
- **保護区の設置・管理、広葉樹林化等による人の生活圏とのすみ分け**（環境省、林野庁）

○ 各種対策について、交付金等による速やかな支援を実施

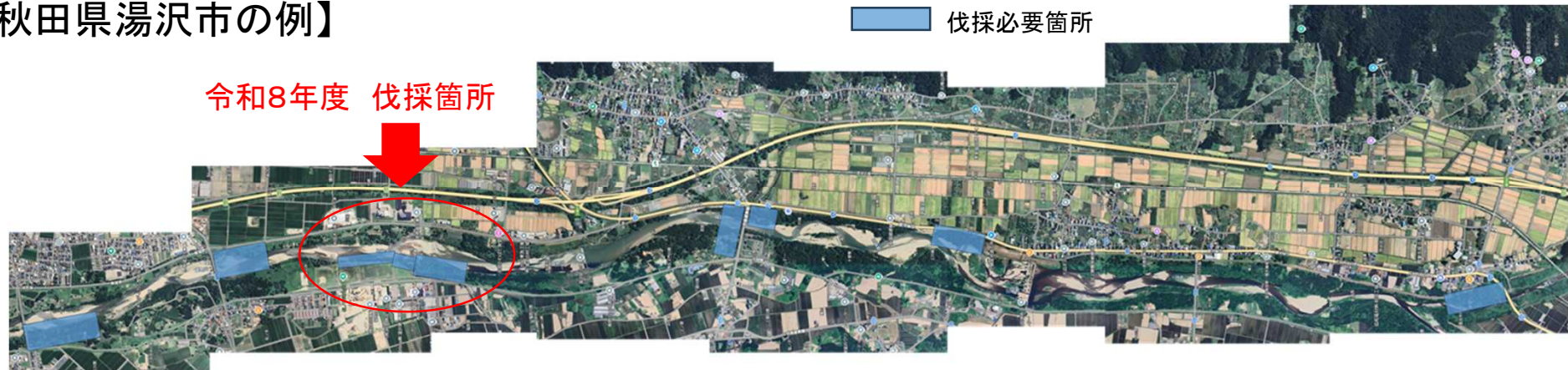
（主な対象経費）・ハンターへの手当等の捕獲推進にかかる費用 ・ガバメントハンター人件費 ・クマ対策関連資機材（はこわな、電気柵、クマスプレー、安全装備等）購入費 ・緩衝帯整備費
・誘引物の撤去費 ・ICTを活用した出没対策費 ・人材育成のための研修費 等 ※その他 警察官の資機材整備、河川の樹木伐採、旅行者への多言語発信などを実施

○ 交付金を受けて実施する事業や地方単独事業として実施するクマの駆除等に要する経費について、特別交付税措置を講じる

河川におけるクマ対策の取り組み事例【秋田県：雄物川上流】

- 雄物川上流において、クマ出没対策の取り組みとして、河道内の樹木伐採を行っている。
- 伐採箇所の選定にあたっては、**河川管理者のみの判断では困難**であることから、効果的に行う必要があるため、**地元自治体(鳥獣対策部局)と連携調整のうえ**、伐採を行っている。

【秋田県湯沢市の例】



■伐採にあたっての取り組み

- ・河川公園内での伐採となるため、残すべき樹木(遊歩道沿い)を湯沢市と立ち会いのうえ決定。
- ・調整を進める中、**区域内に養蜂家(アカシア主体)**がいることから、**伐採は6月中旬以降**にしてほしいとの要望があった。



▲湯沢市(産業振興部農林課)との現地立ち会い状況

■今後の課題について

- ・クマ出没対策として効果的に樹木を伐採するには、必要箇所全てで伐採が必要なほか、**継続的に伐採を実施する必要がある**。



伐木状況



集積状況



実施前



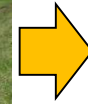
実施後

河川におけるクマ対策の取り組み事例【秋田県：雄物川下流】

【秋田県秋田市の例】

① 河川敷の刈払い[河川管理者]

- ・ 人家連担部付近の河川敷を対象に実施
- ・ 低草木のため、伐採ではなくブルドーザーによる踏み潰しにより効率化を図っている



② 箱わな設置による許認可の簡素化 [地元自治体・河川管理者]

- ・ 市町村からの河川への箱わな設置については
占用手続きを簡素化（届出即日に受理）



- ・ 設置箇所への通路
を立入禁止にする
ため、バリゲード
により封鎖

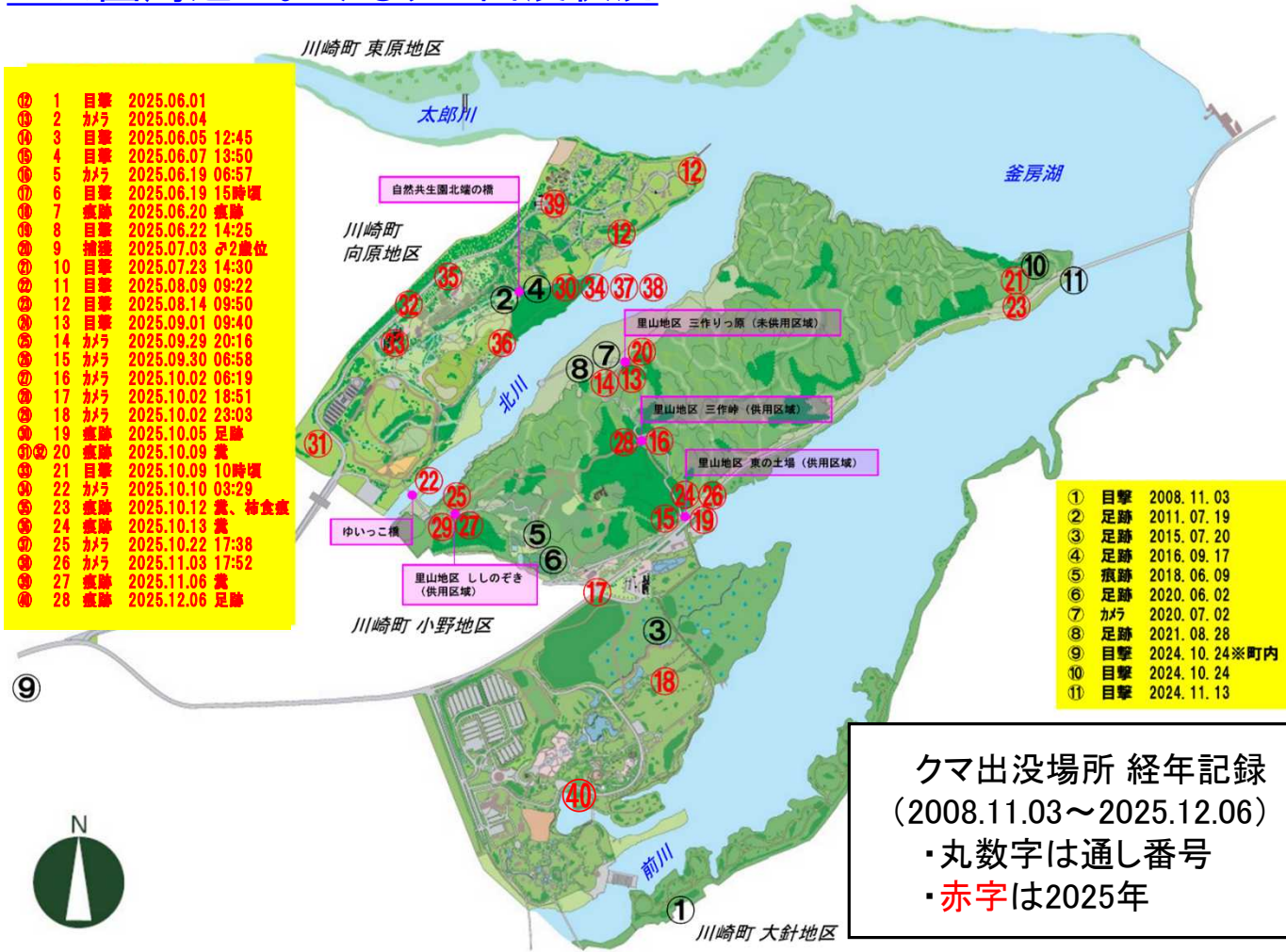
○2024(R6)年度までも目撃情報は寄せられたが、数年に1度の頻度であった。
○2025(R7)年度は6月以降は目撃が相次ぎ、計28件(痕跡含む)と例年にない頻度となり、その都度地区閉鎖を行うなど公園利用にも支障が生じた。

■国営みちのく杜の湖畔公園

■公園周辺におけるクマ出没状況



- 所在地：宮城県柴田郡川崎町
- 面積：約647.4ha（湖面含む）
- 年間入場者数：約60万人



国営公園におけるクマ対策の取り組み事例【国営みちのく杜の湖畔公園】

■クマ対策の取組み

1. 各地区共通



クマスプレーを配備（南地区）



クマよけ鈴の貸出（南地区）

2. 監視カメラ設置

南地区 6箇所
北地区 17箇所
里山地区 3箇所



監視カメラ設置状況

監視カメラで実際に確認されたクマ
(R7.8.9（北地区）)

3. 巡視時の対策

【南地区】1日2回巡視（朝・夕方）、爆竹による威嚇

【北地区】1日3回巡視（朝・日中・夕方）、
カメラ記録有無の確認、爆竹・エアホーン威嚇

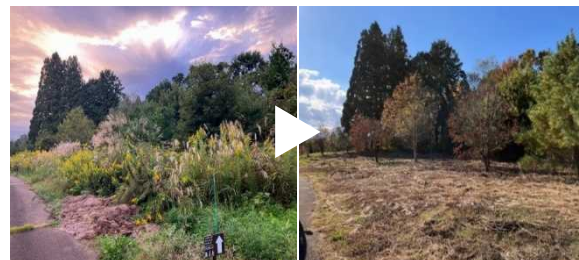
スマートフォンで画像有無確認
※現在は車内から確認巡視時に携行する対策セット
(スプレー・爆竹・エアホーン)

4. 音による威嚇、追い出し

熊よけホーン
(犬の鳴声、銃声、爆竹音)ラジオ（電池）を
24時間常時作動クマに人の存在を
知らせるために鳴らす
鐘を設置

5. 環境整備

- ・クマを寄せ付けないため、見通しを良くするための草刈り、藪刈払い
- ・クマを誘引するカキ、栗の実の除去、カキの木の伐採



草刈り実施前後（北地区）



カキの実除去

栗の実の除去
(イベントとして実施)